

現在「しおかせ」は9人の入居者ですが、2月末までには定員の18人になります。ある日の食事は、入居者のみなさんと職員と一緒につくります。



各支部で新春のつどい

1月31日 つのぎ雪谷支部

催し物に大喝采

毎年恒例のうのぎ雪谷支部の新春のつどい。今年は地域の方々、職員合わせて55人が集まりました。

「今年も、楽しく元気に活動していきましょ」と村松支部運営委員長の挨拶の後、さまざまなお楽しみがあり、とても楽しい一時となりました。うのぎ診療所の秋本先生のカラオケ、フラダンス、オカリナ、コーラスなど…。中でも、うのぎ診療所

うのぎ訪問看護ステーション、うのぎ薬局の職員による「踊り」は、衣装やキーキャップもおもしろく、本心に楽しませていただきました。

医療や介護制度が脅かされている今、民医連である「うのぎ診療所」への期待が高まっています。今年も、職員のみならず、一緒に、さまざまな活動をして、少しでも診療所を支えたいと感じました。

1月29日 大森稲谷支部

みんなで踊った炭坑節

前の浦集室で恒例の新春の集いが行われ、組員さんを中心に、大田病院、大森中診療所など多くの方々にお集まりいただきました。

その後、組員の方々の出し物があり、まずは「かたくり班」。ほぼ全員参加で炭坑節を踊りました。続いて「うたごえ班」による合唱です。「芭蕉布」「折鶴」の後に「青い山脈」「四季の歌」をみんなで合唱しました。そして大森中診療所の創持事務長によるマジックショー。楽しいおしゃべりと見事なマジックで会場は大いに盛り上がりました。最後は参加者全員からそれぞれお話ししてもらいお開きとなりました。来年もまた楽しい集いを行いたいと思っております。



理事・ヘルパー・組員さんのフラダンス (うのぎ雪谷)



みんなで炭坑節を踊りました (大森稲谷)



うのきグループ職員の出し物 (うのぎ雪谷)



うたごえ班と一緒にみんなで合唱 (大森稲谷)

2月7日 豊支部

多彩な出し物に大喜び



60人が参加した新春のつどいは時がたつのを忘れませんでした (豊)

1月31日 西品川支部

替え歌に合わせた踊りで

西品川支部の新春のつどいが、1月31日に行われ60人が参加しました。今年には派遣切りを雇用問題が注目を集めており、総選挙・都議選も予定されており、国民に厳しい医療・福祉行政を含め、大々に変えていける年となっております。来賓の方々からそのような内容が強調されたあしさをいただきました。

恒例となっている地域の方からマジックや民謡踊りが披露され、注目の職員の出し物は都はるみの好きになった人の替え歌に合わせた踊りで会場は最高潮。今年も川音頭を輪になつて踊り、「青い山脈」をみんなで歌ってお開きしました。



マジックや民謡踊りが披露されました (西品川)



豊支部の新春のつどいを2月7日に荏原第5区民集会所で行い、60人が参加しました。あいさつでは、保健生協2カ所目のグループホームが開設されたこと、新大田病院の建設工事が本格的にはじまること、また今年7月の都議選をはじめ、選挙の年であり、医療・福祉・社会保障をよくしてくれる人を選び、政治をよくしていきましょう、という呼びかけなどが、いろいろな方から話されました。組員による民謡踊りでは興にのり、予定していなかった品川音頭を参加者も交えて踊りました。マジック、ゆたか診療所の介護関係の職場の紹介、デイケア職員による体操指導など、さまざまな出し物に参加者は時間のたつとも忘れ、楽しんでいました。